

2020年3月9日

東芝機械相模協力業者協同組合

### 東芝機械株式会社株式に対する公開買付けに関する声明文

東芝機械相模協力業者協同組合(以下「当組合」といいます。 )は、株式会社シティインデックスイレブンス(以下「本公開買付者」といいます。 )による東芝機械株式会社(以下「東芝機械」といいます。 )の株式に対する公開買付けに対し反対することを、組合員企業20社の全会一致で、本日決議しました。

当組合は、東芝機械の相模工場に塗装、運輸、鋳造、熱処理などの様々な分野を通じて協力する20社で構成されており、1962年の設立以来、東芝機械とともに歩んで参りました。当組合の組合員各社はそれぞれが持つ固有技術や特色を生かして、東芝機械の長期的なパートナーとして東芝機械とともに発展を続けています。

東芝機械の経営陣は、本年2月4日に、2023年度に営業利益率8%、ROE8. 5%の達成を目指す、『新生「芝浦機械」に向けた経営改革プラン』を発表しました。この経営改革プランは、抜本的な組織改革と成長分野への投資を大胆に行い、高収益企業への変革を目指すことが明言されています。

この経営改革プランに基づいた改革は、中長期的に東芝機械の企業価値を向上させ、東芝機械の株主だけでなく、私たち協力会社を含むすべてのステークホルダーの利益になるものと考えます。

東芝機械の経営陣は、新社長のもと、不退転の決意と覚悟をもって改革を邁進することを明言しており、当組合としてもかかる経営陣による経営改革を東芝機械のパートナーとして支えていく所存です。

一方で、本公開買付者からは、経営方針が一切示されず、「ものづくり」に対してのビジョンも示されていません。株主の利益を声高に主張する本公開買付者の姿勢には、大きな不安を感じさせます。もし、本公開買付者による公開買付けが成功した場合には、東芝機械の成長分野への大胆な投資が阻害され、経営改革プランが実現できない恐れがあります。その場合、東芝機械の企業価値が毀損され、私たち協力会社の経営だけでなく、当組合の組合員各社の従業員あわせて577人とそのご家族、さらには地域経済にも大きな悪影響が出ることを心配しています。

このようなことから、当組合は、組合員企業20社の全会一致で、本公開買付者による公開買付けに反対するとともに、東芝機械経営陣が推進していく経営改革プランの実現に協力して参ります。

以上